

浅田二郎議員

行政改革について

**問** 効率をいうが、「公共の領域」は、多少費用がかかってもやらねばならないものでは。

**答** 民間が担うことで効果が上がるものは民間で、行政として対応すべき施策等は行政で重点的にやっていくことが必要である。



浅羽東部線の計画地

**問** 成果主義は、「無難で短期の目標しか立てない」、「同僚や上司間の協力・連帯をなくす」、「メンタルヘルスに悪影響」など構造的欠陥が指摘されている。公共機関職員への導入はなじまないのでは。

**答** 成果主義により、職員的能力向上、組織の活性化を図ることが、市民サービス向上に繋がると考える。

道路新設について

**問** 浅羽東部線（浅名）諸井間の県道バイパスは、計画決定の経過、決定後の交通状況の変化、財政的な問題などから、計画を見直すべきでは。

**答** 当路線については、重要な都市計画施設として認識をしており、県道整備事業として事業化していただければ、より取り組んでいきたい。

芝田禮二議員

地球温暖化対策について

**問** 温室効果ガス削減に対し、本市の取り組みとマイバッグ運動の啓発は。

**答** 各家庭でごみの減量や省エネ生活に取り組みアースファミリー事業などを通して積極的に事業展開している。マイバッグ運動は市内事業所の協力により実践するとともに、各種イベントでPRに努めている。



スーパー店頭での「マイバッグ運動」啓発活動

低体温児童急増について

**問** 本市の児童・生徒における実態と原因、その対策は。

**答** ある小学校では約1割の児童が平熱36度未満であった。原因はまだ特定できないが、子供達への直接指導や学校保健委員会と家庭との連携などにより、子供の心と体の健康づくりに努めたい。

安全・安心について

**問** （仮称）「袋井市暴力追放推進協議会」の設置の考え及び外国人犯罪の防止としての体制整備の考えは。

**答** 協議会の設置には積極的に取り組みたい。外国人の生活相談は犯罪防止に結びつくと考え、市の相談窓口の開設を検討したい。